

チュチェ思想－激動の現代史に生活力を証明

ロシア・チュチェ思想研究協会委員長

ドミトリー・コスチェンコ

親愛なる同志のみなさん！

われわれは世界の共産主義運動と進歩的団体が広範に慶祝している祝日－太陽節をひかえてこのセミナーを行っています。

太陽節は朝鮮民主主義人民共和国の創健者であり、共和国の最初であり永遠な主席である金日成主席が誕生した日です。この意義深い祝日が近づいている今日もわれわれは、金日成主席と金正日総書記が残した思想的・理論的遺産の根幹であるチュチェ思想について考えています。

この不滅の思想は朝鮮人民が朝鮮半島を占領した日本帝国主義に反対する武装闘争をくり広げていた時期である 1930 年に開かれた歴史的なカ倫会議で初めて宣布されました。金日成主席は会議で行った演説で、国の自由と民族的独立は外部勢力の援助や列強の庇護を受けてではなく朝鮮民族の力によってのみ遂げることができると宣言しました。

チュチェ思想は朝鮮で生まれた独創的な世界観として朝鮮人民の全歴史と密接に結び付いていると同時に全人類的意義をもち、全世界の人民に自由と独立への道を開いてくれる思想です。

社会主義朝鮮の始祖である金日成主席は著作の中で、抑圧され、蔑まれてきた人民大衆が初めて自己の運命の主人として歴史舞台上に登場した新時代の要請を深く分析しました。

ここで重要なのは、チュチェ思想が、人民大衆を歴史と自己の運命の主人とみなし、人民大衆の革命闘争を通じてのみ国の民族的及び社会的解放を勝ち取ることができるということを解明したことです。これは朝鮮民主主義人民共和国の今後の発展方向を示しました。共和国は世界の多くの人民の真の独立と民族的自決権を目指す闘争において灯火となりました。

チュチェ哲学は、人間はあらゆるものの主人であり、すべてを決定すると解明しました。チュチェ思想が社会的過程に適用されて生まれた原理は、人民大衆が歴史の創造者であり、歴史の主体であるということです。また、社会的・歴史的運動は人民大衆の自主的かつ創造的で、意識的な運動であるということです。

チュチェ思想の指導的原則は、チュチェ思想の根本原理が込められた思想における主体、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則です。

国家建設の実践にたいするチュチェ思想の重要な内容は、領袖、党、大衆の統一に関する原理です。朝鮮民主主義人民共和国の政治体制は、領袖の政治体制です。人民大衆

は自分の領袖を限りなく敬慕して信頼し、忠実に奉じており、国を指導する偉大な総帥たちは変わることなく以民為天の思想で人民大衆に対しています。

このように朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想を確実に具現した結果、党と国家、人民が一つの統一体をなし、一心団結にもとづいた社会主義社会を建設することによって、現代社会の唯一の模範となっています。

朝鮮民主主義人民共和国の輝かしい過去と今日の立派な成果は、チュチェ思想の理論的原理の真理性にたいする明白な証左となります。

朝鮮人民は栄えある革命伝統に忠実であり、金日成主席と金正日総書記が著作で示した道に沿って力強く前進しています。

朝鮮人民は、不滅のチュチェ思想を指針にして独立を達成して社会主義建設を始め、祖国解放戦争の時期、アメリカ帝国主義との熾烈な対決で勝利し、戦後の時期、伝説的なチョンリマの速度で経済を復旧しました。まさに、チュチェ思想が長い間、朝鮮民主主義人民共和国の自主的な対外政策的方向と自立的な経済発展を規定しました。それによって朝鮮民主主義人民共和国は多くの東欧諸国で社会主義が挫折した時も引き続き成果的に発展し、苦難の行軍の時期の経済的難関を克服することができました。社会主義朝鮮はチュチェ思想の旗の下に核及びロケット技術を所有し、熱核融合の秘密を明かし、人工地球衛星を宇宙に打ち上げました。朝鮮革命の全歴史はチュチェ思想の生命力の直感的な実例となります。

わが協会はロシアで組織された初のチュチェ思想研究組織であり、すでに 25 年以上も粘り強くチュチェ思想研究普及活動を行っています。

われわれは出版物を発刊し、金日成主席と金正日総書記の思想的遺産と金正恩総書記の最近の著作、朝鮮民主主義人民共和国にたいする研究普及活動を、インターネットを通じて行っています。